

景観まちづくり情報シート(受託事業)

活動団体名	社団法人静岡県建築士会 景観整備機構
受託事業名	行政職員のための景観実務講座：景観まち歩き&WS
受託先	静岡県都市住宅部市街地整備室
事業年度	平成18年度、19年度、20年度（H18：89千円、H19：64千円、H20：254千円）

事業の概要

景観法を所管する静岡県都市住宅部市街地整備室は、景観整備機構に、市町の行政職員を対象にした「景観実務講座」の企画・運営を依頼し、H18、19、20の3年にわたり本会景観整備機構が実施した。

景観整備機構の役割は3つ

- ・ 講座の企画・プログラム作成
- ・ 当日の進行役とまとめ
- ・ まち歩き後のワークショップのコーディネーター、及びグループ・ファシリテーター

○意義 行政職員を対象にした行政主催の講座について、企画から実施まで委託されたこと

H18.11.17 新居町

○目的 景観形成の主役である地域の住民とともに協働して、景観まちづくりを進めていく上で、行政はどのようにしていくべきか、その姿勢、役割、責任等について学ぶ。

○対象 市町の行政職員：12市3町17名、県職員8名の行政職員、建築士8名 計33名参加

○内容 10:30 新居町の住民まちづくり活動の取り組みの経緯、実績、成果
12:00 グループごとに〈昼食〉&〈街歩き〉
14:00 ワークショップ「景観まちづくり」の理解とこれを行う上でのニーズや課題を共有
15:50 発表 →ふりかえり旗揚げアンケート（質疑）→終了

H19.7.20 川根町

○目的 景観まちづくりの意義と重要性、及び景観法の使い方を学ぶとともに、景観行政団体は何かができるのか、また景観整備機構とどのように協働できるのか、現在進められている景観研究の事例の紹介を受けながら、地域住民とどのように“景観育て”をしていけばいいか、そのしくみについて考える。

○対象 市町の行政職員：35名

○内容 10:30 講義「建築士会がめざす景観整備機構」景観整備機構副代表 塩見 寛
講演「景観まちづくりの意義・景観法の使い方」東京大学教授 西村幸夫先生
13:00 まち歩き（グループごと）
14:05 フリートーク&ワークショップ（ファシリテーター：生田八朗・伊久美新一・塩見寛）
・ 景観行政団体になることには、どんなメリットがあるか
・ 景観育てをどういうふうに進めていけばよいか
15:35 発表 →講評 西村幸夫先生 →終了

H20.11.17 藤枝市

○目的 地域性が表れる景観資源の探し方と、その景観資源をどのように活かしていくのかを学ぶ
住民に関心をもってもらう方法を学ぶ

○対象 市町の景観行政担当職員 37名

○内容 10:30 講義「建築士会がめざす景観整備機構—実践と実績—」景観整備機構副代表 塩見 寛
講演「景観資源の探し方・活用のしかた」千葉大学教授 木下勇先生
13:05 まち歩き：商店街・茶町・上伝馬
14:00 フリートーク&ワークショップ（ファシリテーター：志太支部）
・ 景観資源をどのように活かしていくか ・ 住民の関心をどのように仕向けていくか
15:40 発表 →講評 木下勇先生 →終了

